

第 2 1 期

事 業 報 告

自 令和 3 年 4 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 3 1 日

青い森鉄道株式会社

第21期事業報告

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

1 会社の現況

(1) 当事業年度の事業の状況

① 事業の経過及び成果

我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により多くの国々と同様に甚大な影響を受けました。令和3年度は、ワクチン接種の進展により、回復の動きを見せたものの、その後の感染再拡大による消費の低迷や生産活動の停滞により、他国に比べ回復の遅れが見られています。

本県においても、ワクチン接種の拡大の効果などもあり、持ち直しの動きが続いているものと考えられている一方で、度重なる変異株の出現による感染拡大も見られ、未だ収束は見通せない状況にあります。

当社においても、新型コロナウイルス感染症の新たな変異株による感染拡大の影響を受け、旅客運輸収入は当初計画から大幅な減収となりました。しかしながら、コロナ禍においても「地域の足」としての使命を果たすため、お客様に安心してご利用いただけるよう感染防止対策に取り組み、利用者が大幅に減少しても、減便することなく平常運行を継続してきました。

また、今冬は12月下旬から2月下旬にかけての長期間にわたる断続的な大雪により、列車が走行不能となる事象が多発するなど、お客様には大変なご迷惑をおかけしました。次年度に向けては、更なる除雪体制・方法等の改善を図り、冬期における安全安定輸送の確保に努めてまいります。

一方、コロナ禍の中ではありましたが、7月に「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録されたことを祝して、駅舎等に横断幕を掲出したほか、オリジナルグッズ発売などに取り組みました。このほか、盛岡・青森間の鉄道開通130周年を記念し、I G Rいわて銀河鉄道と連携した商品造成等に取り組みました。

このような中で、当期は第5次中期経営計画をスタートし、4つの重点項目を柱として、次のとおり、効率的な経営や沿線地域の振興等に取り組みました。

一つ目の「安全・安定輸送の確保」については、鉄道事業者としての最大の使命である鉄道運転事故「ゼロ」を継続しました。

新型コロナウイルスの感染拡大防止については、年明け1月以降の新規感染者の急増、青森県への国のまん延防止等重点措置の適用等、厳しい状況が続きましたが、お客様により安心してご利用いただけるよう、駅設備の消毒や車両内の換気の実施など、これまで以上に危機感をもってより一層の感染防止対策に取り組みました。

二つ目の「経営基盤の強化」については、青森県と連携して実施した「青い森鉄道でGoGo!縄文キャンペーン」や盛岡・青森間の鉄道開通130周年を記念した「もりもりフリーパス」の発売等により旅客運輸収入の増収に取り組んだほか、「青い森鉄道オンラインショップ」の開設やモーリーと縄文遺跡マスコットキャラクターとのコラボグッズの発売など、自主事業の強化に努めました。しかしながら、長引くコロナ禍の影響

により、旅客運輸収入、自主事業収入とも当初計画から大幅な減収となりました。

三つ目の「沿線地域等との連携による利活用促進」については、前年度と同様、沿線の祭り、イベント等の中止により、十分な連携の取組みには至りませんでした。また、「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界文化遺産登録を記念した横断幕掲出や中吊り広告、当社線の更なる利用促進に向けた県内外メディアへの取材協力等により、沿線の魅力発信に努めました。

四つ目の「人材確保と人材育成、組織力の強化」については、人材確保に向けて、新たに採用パンフレット及びポスターを作成したほか、各種就職説明会を開催しました。また、人材育成に向けては、リーダー研修やトレーナー研修などに取り組みました。

その結果、当期の営業収益は5,349,073千円、営業費は5,310,497千円となり、営業利益は38,576千円となっています。

これに営業外損益等を計上した後の当期純利益は3,314千円となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響による減収等があったことから、営業費において、第三種鉄道事業者である青森県から線路使用料の減免措置(425,838千円(税込))を受けています。

② 設備投資の状況

当事業年度に実施した設備投資の総額は74,259千円であり、その主な内容は次のとおりです。

- ・ 乗用車10台(リース資産) 17,958千円
- ・ 新型乗車券印刷発行機5台 13,750千円
- ・ 701系輪軸組立4対(付属部品込) 9,650千円
- ・ 駅務機器用TSCサーバ 7,000千円

(2) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

区 分	平成30年度 (第18期)	令和元年度 (第19期)	令和2年度 (第20期)	令和3年度 (第21期)
営業収益	5,858,290千円	5,547,349千円	5,283,762千円	5,349,073千円
経常利益	130,590千円	29,927千円	27,939千円	30,277千円
当期純利益 (△当期純損失)	68,776千円	3,667千円	△ 8,671千円	3,314千円
1株当たり当期純利益 (△1株当たり当期純損失)	1,185円 81銭	63円 23銭	△ 149円 51銭	57円 14銭
総資産	5,136,986千円	5,316,799千円	4,689,859千円	4,596,143千円
純資産	2,734,512千円	2,738,179千円	2,729,508千円	2,732,822千円
1株当たり純資産額	47千円	47千円	47千円	47千円

(3) 主要な事業内容

当期の当社の事業は、旅客鉄道事業及び付帯事業です。

① 旅客鉄道事業

旅客鉄道事業の営業キロは目時・青森間121.9km、駅数は27駅です。

車両は、701系電車18両（9ユニット）及び703系電車2両（1ユニット）の計20両（10ユニット）を保有し、また、703系電車2両（1ユニット）をリース契約により借り受けております。

青い森鉄道の列車は、1日93本、うち快速列車を6本運行し（注）、I G Rいわて銀河鉄道線（盛岡・目時間を経営）や、J R大湊線との直通運転も行っております。

（注）令和4年3月12日ダイヤ改正後の運行本数

② 付帯事業

付帯事業として、鉄道施設を所有する青森県から指定管理者の指定を受け、線路等、鉄道施設の保守管理を行うとともに、駅構内の利活用スペースの使用許可等業務を行っているほか、旅行業及び物販事業を行っています。

(4) 主要な営業所

- ① 本社 青森県青森市篠田一丁目6番2号
- ② 開業日 平成14年12月1日（目時・八戸間）
平成22年12月4日（八戸・青森間）
- ③ 駅 目時駅【三戸町】
三戸駅、諏訪ノ平駅、剣吉駅、苫米地駅【南部町】
北高岩駅、八戸駅、陸奥市川駅【八戸市】
下田駅、向山駅【おいらせ町】
三沢駅【三沢市】
小川原駅、上北町駅、乙供駅、千曳駅【東北町】
野辺地駅【野辺地町】
狩場沢駅、清水川駅、小湊駅、西平内駅【平内町】
浅虫温泉駅、野内駅、矢田前駅、小柳駅、東青森駅、筒井駅、青森駅
【青森市】（有人駅9駅、無人駅18駅）
- ④ 管理所 運輸管理所【青森市】、運輸管理所八戸派出【八戸市】
設備管理所【青森市】、設備管理所八戸派出【八戸市】
- ⑤ その他 青い森たびショップ三沢（休止中）【三沢市（三沢駅構内）】
青い森たびショップのへじ（休止中）【野辺地町（野辺地駅構内）】

（注）本事業報告書中記載の金額については、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

第 2 1 期 計 算 書 類

自 令和 3 年 4 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 3 1 日

(ページ)

1. 貸借対照表	1
2. 損益計算書	2
3. 株主資本等変動計算書	3
4. 個別注記表	4

貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

(単位:千円)

科 目	金額	科 目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	(3,725,124)	流動負債	(1,180,899)
現金及び預金	3,216,267	リース債務	71,986
未収運賃	43,307	未払金	949,182
未収金	420,023	未払法人税等	17,078
商品	5,084	未払消費税等	21,084
貯蔵品	38,384	預り連絡運賃	9,561
前払費用	2,051	前受金	109
その他流動資産	6	預り金	4,442
		前受運賃	52,443
		賞与引当金	55,009
固定資産	(871,018)	固定負債	(682,421)
鉄道事業固定資産	710,595	リース債務	248,410
指定管理事業固定資産	121,956	退職給付引当金	329,388
その他の事業固定資産	2,949	役員退職慰労引当金	10,800
投資その他の資産	35,517	特別修繕引当金	93,823
繰延税金資産	33,082		
出資金	100	負債合計	1,863,320
保証金	2,326	(純資産の部)	
長期前払費用	9	株主資本	(2,732,822)
		資本金	2,900,000
		利益剰余金	△ 167,177
		繰越利益剰余金	△ 167,177
		純資産合計	2,732,822
資産合計	4,596,143	負債純資産合計	4,596,143

損益計算書

自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日

(単位：千円)

科 目		
鉄道事業		
営業収益	1,888,814	
営業費	1,856,618	
営業利益		32,196
指定管理事業		
営業収益	3,430,365	
営業費	3,428,033	
営業利益		2,331
その他の事業		
営業収益	29,893	
営業費	25,844	
営業利益		4,049
全事業営業利益		38,576
営業外収益		
受取利息	152	
雑収入	2,113	2,265
営業外費用		
支払利息	10,543	
商品廃棄損	21	10,564
経常利益		30,277
特別損失		
固定資産除却損	834	834
税引前当期純利益		29,442
法人税、住民税及び事業税	18,733	
法人税等調整額	7,395	26,128
当期純利益		3,314

株主資本等変動計算書

自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日

(単位:千円)

	株主資本				純資産合計
	資本金	利益剰余金	利益剰余金 合計	株主資本 合計	
		繰越利益 剰余金			
当期首残高	2,900,000	△ 170,491	△ 170,491	2,729,508	2,729,508
当期変動額					
当期純利益		3,314	3,314	3,314	3,314
当期変動額合計		3,314	3,314	3,314	3,314
当期末残高	2,900,000	△ 167,177	△ 167,177	2,732,822	2,732,822

個別注記表

1. 重要な会計方針に関する注記

(1) たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品及び貯蔵品 …………… 最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げ方法により算定）

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

建物及び車両（リース資産を除く）

定額法によっております。

建物及び車両以外（リース資産を除く）

定率法によっております。

リース資産

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

無形固定資産

ソフトウェア

定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金 …………… 従業員の賞与の支給に充てるため、将来の支給見込額のうち当期の負担額を計上しております。

退職給付引当金 …………… 従業員の退職給付に備えるため、自己都合による期末退職給与要支給額の100%を計上しております。

役員退職慰労引当金 …… 役員の退職慰労金の支出に備えるため、役員退職金規程に基づく期末要支給見込額の100%を計上しております。

特別修繕引当金 …………… 鉄道車両の装置保全、車体保全等に要する定期修繕費用の支出に備えるため、発生費用見込額を期間配分し、当期対応額を計上しております。

(4) 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。

「鉄道事業」は、鉄道による旅客運送（第2種鉄道事業）を行っております。

「指定管理事業」は、青森県より指定管理者として指定を受けて鉄道施設の保守管理を行っております。

「その他の事業」は、旅行業（青い森たびショップの運営）、駅構内の利活用スペースの使用許可等業務、売店（モーリーズカフェ）の運営、物品販売を行っております。

サービスの提供については役務提供完了時点、商品の販売については顧客に商品を引き渡した時点で履行義務が充足されると判断し、収益を認識しております。

(5) 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

2. 会計方針の変更に関する注記

(1) 収益認識に関する会計基準等

当社は、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日改正。以下「収益認識会計基準」という。)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日改正)を当事業年度の期首より適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、当事業年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響はありません。

(2) 時価の算定に関する会計基準等

当社は、「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日)及び「時価の算定に関する会計基準の適用方針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日改正)を当事業年度の期首から適用しております。

この変更による、当事業年度への影響はありません。

3. 表示方法の変更に関する注記

損益計算書の営業損益は、従来は「鉄道事業」及び「付帯事業」の2つの区分で表示しておりましたが、指定管理事業の営業損益をより明瞭に示すために、当事業年度から、「鉄道事業」、「指定管理事業」及び「その他の事業」の3つの区分で表示することといたしました。

4. 会計上の見積りに関する注記

会計上の見積りにより当事業年度に係る計算書類にその額を計上した項目であって、翌事業年度に係る計算書類に重要な影響を及ぼす可能性があるものは、次のとおりであります。

繰延税金資産 33,082千円

5. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 2,199,985千円

(2) 鉄道事業固定資産

有形固定資産	704,127千円
建物	176千円
機械装置	1,875千円
車両	489,175千円
工具器具備品	59,556千円
リース資産	153,343千円
無形固定資産	6,468千円
計	<u>710,595千円</u>

(3) 指定管理事業固定資産

有形固定資産	121,956千円
リース資産	121,956千円
計	<u>121,956千円</u>

(4) その他の事業固定資産

有形固定資産	2,949千円
建物	2,887千円
工具器具備品	62千円
計	<u>2,949千円</u>

6. 株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の数	普通株式	57,000株
	優先株式	1,000株
計		<u>58,000株</u>

7. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の原因は以下のとおりです。

減価償却超過額	5,067千円
一括償却資産	360千円
賞与引当金	16,755千円
未払事業税	3,846千円
貯蔵品	8,140千円
退職給付引当金	103,621千円
特別修繕引当金	28,578千円
小計	166,370千円
評価性引当金	△ 133,288千円
繰延税金資産合計	33,082千円

8. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、資産運用については主に短期的な預金によっております。資金調達の予定はありません。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

令和4年3月31日における金融商品の時価及び差異については次のとおりです。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時 価	差 額
① 現金預金	3,216,267	3,216,267	—
② 未収運賃	43,307	43,307	—
③ 未収入金	420,023	420,023	—
資産計	3,679,598	3,679,598	—
④ 未払金	949,182	949,182	—
⑤ 前受運賃	52,443	52,443	—
⑥ リース債務 (短期及び長期)	320,396	319,029	△ 1,367
負債計	1,322,022	1,320,655	△ 1,367

①現金預金、②未収運賃、③未収入金

これらは、短期間で決済されるため、時価が帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

④未払金、⑤前受運賃

これらは、短期間で決済されるため、時価が帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

⑥リース債務（短期及び長期）

元利金の合計額を資本還元率によって割り引いて算定する方法によっております。

9. 関連当事者との取引に関する注記

(単位：千円)

属性	名称	議決権の被所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (注3)	期末残高	
						科目	金額 (注3)
主要株主	青森県 (注1)	直接 68.8%	当社路線線路、本社屋、駅及び設備管理所並びに各所設備の所有、保守管理	当社路線線路、本社屋、駅及び設備管理所並びに各所設備の使用	91,073	未払金	100,180
				指定管理者制度に基づく青森県が所有する当社路線線路の保守管理	3,430,365	未払金 (注2)	190,706

(注1) 取締役東直樹氏は青森県企画政策部長、奈良浩明氏は青森県企画政策部次長(交通政策推進監)であります。

(注2) 指定管理者契約に基づき、当事業年度の実績により受領済みの委託料の一部を返還することとしています。

(注3) 取引金額には消費税を含めておりません。期末残高には消費税を含めております。

10. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額 47,117円62銭

1株当たり当期純利益 57円14銭

11. 収益認識に関する注記

収益を理解するための基礎となる情報は、「1. 重要な会計方針に関する注記 (4)収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

12. その他の注記

計算書類は千円未満切捨てで表示しております。